



社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地
TEL：0772-22-0320 ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

UPZ(緊急時防護措置準備区域) 防災訓練に参加

平成27年11月28日福井県高浜原発の事故に備えて、京都府と宮津市、伊根町の主催で行われた「平成27年度京都府原子力総合防災訓練」に社会福祉施設としてなぎさ苑で北星会職員13名が訓練に参加しました。



防災訓練の概要を府の職員の方より説明を受け、スクリーニングのための機器を実際に使用して、放射性物質の測定を行いました。使用する機器等初めて目にするものばかりで戸惑いもありましたが、確実に測定できるよう、参加職員交互に測定して操作方法の確認を行いました。測定にあたって、日常生活の中に

平成27年11月28日福井県高浜原発の事故に備えて、京都府と宮津市、伊根町の主催で行われた「平成27年度京都府原子力総合防災訓練」に社会福祉施設としてなぎさ苑で北星会職員13名が訓練に参加しました。



線量計使って測定

その後、避難中継所（今回は野田川わーくぱる）へ向けて移送訓練となり、職員は防護着用、利用者役の坂根施設長と北條施設長



なぎさ苑から中継所へ避難です

を介助してリフト車（なぎさ苑車両）に乗車、自衛隊の高機動車に先導されて避難しました。



高機動車の到着と乗車

野田川わーくぱる到着後、駐車場にて車両に放射性物質がついていないか、車両専用の測定ゲートを通り過ぎてから下車となり、誘導に従い建物内の検査スペースでの測定と検査、除染への流れを説明していただきました。



わーくぱる駐車場にて

今回訓練に参加して、各施設の防災マニュアルでは想定していなかった点や、

災害時に職員の確保、ご利用者の安全と生活を継続させていくための対応など今後の課題が多くあることがわかりました。

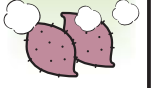


スクリーニングと除染場見学

また、災害発生時に正確な情報を確保していくこと、屋内退避指示が出るまでの対応、汚染区域からの避難指示の対応など、状況の変化に遅れることなく対応できる体制を北星会として整備していく必要があります。

ご利用者に安心して生活を送っていただけるよう北星会全施設・全職員で日頃より備えを行い、積み上げていく努力を怠らないようにしていきたいと思っております。
(黒垣 英樹)

ホクホク！ 焼き芋大会



芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋：過ごしやすい日々が続き、様々な活動に精が出ます。秋も深まる11月、与謝の園のご利用者（と職員）が一番楽しみにしているのは、やはり食欲の秋！ 恒例の焼き芋大会が開催されました。



焼き上がりが待ち遠しいです

まずご利用者の皆さんにお手伝いいただき、輪切りにした芋をアルミホイルに包みます。芋はあらかじめふかしてありますので、焼き加減に関わらずおいしくいただけるようになっていきます。一方職員はドラム缶に落ち葉を敷き詰め、火を熾します。燃やす落ち葉は



ほくほく美味しい

玄関前の桜。上る煙も桜の香りが：煙たいだけでした。

いい塩梅の火加減となつたところでご利用者の皆さんに集まっていただき、芋を投入。アルミホイルで包んであるので次々と投げ入れられます。待つこと20〜30分。アツアツの焼き芋を取り出し、焼き加減を確認。アルミを開くとおいしそうな焼き色のついたホクホクの焼き芋が姿を現しました。焼きたての芋を皆さんにお配りして秋空の下で頬張ります。ご利用者の表情もホクホク！

秋の風物詩とも言える焼き芋。肌寒くなる時期ですが、屋外で季節を感じながら食べる芋はまた格別。来年も好天の下、甘〜い焼き芋が食べたいですね。

(小田 晋)

天橋の郷オープンデー

天橋の郷では、『介護の日』にちなみ、『老いを「楽」しみ、共に、気「楽」に生きる』をテーマ食べて良し、見て良し、聞いて良しの盛り沢山企画を地域の皆様を対象に開催しました。

食べる企画では、認知症予防に効果のある食材を使った複数のメニューから選んで頂きました。「この食材が認知症予防になるなんて知りませんでした」と言われる方。「施設のご飯を始めて食べたけど、おばあちゃんが羨ましい」と言われる方。皆さんの食事が美味しく美味しくて豪華であることが驚きのようでした。食後は、運動ということで、天橋の郷予防レシジャー&備忘ペアによる、身体のメンテナンスとストレッチ体操や脳トレの方法を面白おかしく紹介しました。講演会では、なぎさ苑の医師益田順一先生による高齢者に発症しやすい病気のことや認知症のこと



認知症予防セレクトメニュー

まじい」と言われる方。皆さんの食事が美味しく美味しくて豪華であることが驚きのようでした。食後は、運動ということで、天橋の郷予防レシジャー&備忘ペアによる、身体のメンテナンスとストレッチ体操や脳トレの方法を面白おかしく紹介しました。講演会では、なぎさ苑の医師益田順一先生による高齢者に発症しやすい病気のことや認知症のこと



講演会の様子

普段なかなか聞くことができな内容でした。こうした盛り沢山の企画が発信できるのも各専門職が従事する施設ならではの強みではないでしょうか。これからも知って得する情報を地域に発信していきたいと思えます。

(藤原 敬也)

11月11日は介護の日

天橋園では初の介護の日イベントとして『ギャラリー天橋園』（略してギャララ天）を、11月7日（土）から11月23日（月祝）まで地域交流スペースで開催しました。

日ごろ交流のある、みずほ保育園の園児さんの作品（絵画・大好きなおじいちゃん・おばあちゃん）や、京都暁星高等学校福祉部の生徒さんの活動記録パ



どれもあたたかい素敵な作品

ネル、宮津小学校ボランティア委員会の生徒さんの絵画、宮津中学校の美術作品（絵画・絵手紙）と魅力ある作品が盛り沢山！天橋園からも長期ご利用者やデイサービスご利用者の作品展示をさせて頂き、賑やかなイベントとなりました。地域の方々への宣伝も宮



なみちゃんも見に来てくれました

津市ゆるキャラ『なみちゃん』にご協力いただき、沢山の来場者に鑑賞して頂く事が出来ました！

(大松 智史)

調理補助(介護食)スタッフ講習会

宮津与謝シルバー人材センターが事業を天橋園に委託され、講師をさせていただきます。60歳以上の方を対象として10月・11月の5日間延べ20時間以上、定員15名の募集でした。応募は30名以上あったようで、介護食への関心の高さがうかがえました。

調理実習は班ごとに調理して試食してもらいました。普通食と刻み食の違い、ソフト食やゼリー食、そしてミキサー食とはどのような食事かを感じていただきました。実習の中で、家庭ではあまり多用されないフードプロセッサーを使用することにも慣れてもら



普通食とくらべてもらいました



自信につながる経験を

い、どのようになれば、食べやすく飲み込みやすく調理できるかを経験してもらいました。

受講者は、初めて聞くこと、することです戸惑われていました。皆さん主婦として経験豊富な方ばかりです。すぐに慣れて頂きました。いろいろな調理の工夫や見た目、味、食べやすさを感じられた様子で、「前回つくったものを家でも作り、好評でした」「ハンバーグのつなぎ食材は思いつきませんでした」「ゼリー食の味がとてもおいしかった」などの声も聞かれました。今後、実際に仕事に就かれたり、家庭で必要になった時の予備知識として役立ててほしいです。

(廣居輝恭)

福祉の魅力を届けます

天橋の郷では、「住民福祉の増進と地域社会の発展に寄与する」という法人理念のもと、栗田中学校一年生に対して福祉教育の一環及び次世代担い手育成事業として、出前講座や施設実習の受け入れを行っています。

本取組は、今年で三回目を数え、天橋の郷が地域社会の有用な施設として、教育の場との交流を通して高齢になっても安心した生活が営める街づくり・社会づくりを目指すものです。生徒たちが福祉について正しく理解し、高齢者の生活支援サービスを実際に体験す



手作りのおやつを召し上がれ

ることにより、身近なお年寄りを労り、地域でお年寄りに気軽に声をかけられるようになれば、この地域がもっともつと安心して住みやすい場所になると実感しました。

「認知症サポーター養成講座」の開催

なぎさ苑では、認知症ケアを地域に発信していくために「認知症サポーター養成講座」の開催を企画しました。

第一弾は、吉津小学校です。宮津市の小学校では、認知症サポーター養成講座を開催するのは初めてです。

小学生にわかりやすく認知症の事を理解してもらうために講義だけでなく、認知症高齢者の生活場面を寸劇にして発表しました。

「ご飯を食べたのに食べていないという認知症のおばあさん：お嫁さんはいくつのお嫁さんか。悪い例と良い例を交互に見てもらい、「こんな時どうしたら良いと思う？」と小学生に質問を

今後も受け入れを継続し、将来を担う子どもたちが福祉の現場を知り、仕事を体験してその魅力に触れる機会を提供していきたいと考えています。(藤原敬也)

投げかけると、元気よく手を挙げて答えてくれました。



寸劇の一場面

今後なぎさ苑が認知症ケアの中核的役割を担う施設として、地域社会に貢献できるよう、さまざまな活動を行っていきます。

(松村博志)

郷はクールスポット!

平成27年7月7日～9月30日の間天橋の郷では、地域の皆様が節電で冷房を制限され熱中症になることを防ぐため、冷房が効いた施設を地域の皆様に開放し、イベントや作品展示、講演会を開催し、ご利用者と地域の皆様との交流の場所になればと、今年も「天橋の郷涼やかサマーデイズ」を開催しました。



期間中は、20団体の皆様にご協力を頂き、大盛況のうちには終了しました。延べ1700人の方々に来所して頂き、地域に向けての施設の取り組みや施設に立ち寄り頂ける良い機会になりました。

今年も、地域の海洋高等学校のマリンバイオ部の生徒さんによる、「郷の小さな水族館」を設置して頂き、現在も開催中で熱帯魚や可愛い金魚達が来所される皆様を出迎えてくれます。お越しの際はお立ち寄り下さい。(藤原敬也)

おめでとう! 波尻さん 瑞宝単光章 受章

平成27年秋の叙勲におきまして与謝の園・看護師波尻和子さんが『瑞宝単光章』を受章しました。昭和63年4月に臨時職員



ケアマネージャーのお仕事

平成12年4月より介護保険制度が施行され、今ではケアマネージャーという言葉を知っておられる方は多いことと思います。しかし、そもそも「ケアマネージャー」って何をする人なのでしょう?

私たち居宅介護支援事業所のケアマネージャーは『住み慣れた自宅で、安心して自分らしく暮らしたい』という方やその介護者の希望を伺い、心身の状態

に合わせて居宅サービス計画書(ケアプラン)を作成し、医療・介護等の各事業所との連絡・調整・連携を取り、在宅サービスが適切に利用できるように支援することが主な役割です。

また、地域の高齢者やその家族が気軽に立ち寄り、談笑したり、体操を楽しむことができるオレんじカフェ(認知症予防カフェ)で、介護保険に関する相談や予備知識で知っておきたいと思われる内容にお答えできる場にも参加しています。

ます。例えば、病院と施設の違いからとまどう事もたくさんありましたが、ご利用者の笑顔とありがたの言葉が、働く意欲となりました。今日まで頑張ることができました。一番の思い出は、CAPP活動で、犬を連れて

各施設を訪問したことです。犬達と、触れ合うご利用者の笑顔がとても印象的で忘れられません。今後とも感謝の心を忘れずに、ご利用者に楽しく安心・安全に過ごしていただけるよう

今後も地域に根差し、介護保険をより身近なものとしてサービスが利用できるよう精一杯お伝えさせていただきます。いつでもお気軽にご相談ください。(山田 富美栄)



宮津のなみちゃんと一緒に◎

頑張りたいと思っております。』と語ってくれました。一見、クールな印象の波尻さんですが、おおかでどっしりとした肝っ玉かあさんのようで、ご利用者を見守ってくれます。

これからも、身体に気を付けて、ご利用者に寄り添っていただくと共に、施設を支える後進の指導にもうひと頑張りお願いします。(小牧 寿津子)